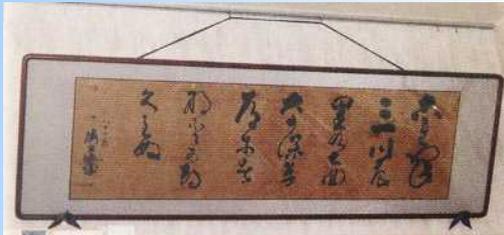




三川小学校のスローガン **よく学び、よく遊べ！そして助け合う三川っ子！**

## 三川っ子が短歌好きな理由は「海上 胤平」？

校長室に入られたことがある方は、ある額装に目がとまると思います。三川出身の歌人「海上胤平」直筆の歌が収められています。



ななまがり

「これやこの 三川の里の七曲 なほき道には などかつくらぬ」と書かれています。意味…これが噂に聞くある三川の里の七曲。まっすぐな道をどうしてつらないのか。(七曲…道が幾重にも折れ曲がっているところ。)

うなかみ たねひら

「海上胤平って、どんな人？」という方に、よく分かる解説を…。

○出 没：1829年～  
1916年

○出身地：三川村犬林

○武 芸：剣道・槍術

○仕 事：裁判所役人  
日本一流の  
歌人

○性 格：頑固

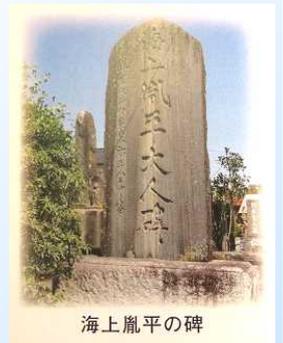
一度決めたことは押し通す

○生い立ち：

- ・文政12(1829)年、裕福な地主の三男として生まれる。小さい頃から「鬼六郎」と呼ばれるほどの暴れん坊だった。
- ・17歳で江戸に出て、北辰一刀流などの剣道や槍術を学び、免許皆伝。
- ・26歳で、千葉周作の推薦により紀州藩(今の和歌山県)の剣術師範役になる。
- ・明治2年、水原県(今の新潟県)の役人になる。



- ・明治8年、山形県の地方裁判所判事補になり、役人としての才能を発揮する。
- ・55歳で役人を辞め、東京に住み、自分の好きだった歌の道に進む。
- ・歌人及び歌道評論家となる。
- ・歌人として超一流になり、「明治現存三十六歌撰」に選ばれる。
- ・代表的歌集として、「椎園詠草」「椎園歌集」を出版する。
- ・大正2年、三川に碑が建てられる。正面の文字は、胤平に歌の指導を受けていた海軍大将東郷平八郎の書。
- ・大正5(1916)年、88歳で永眠。



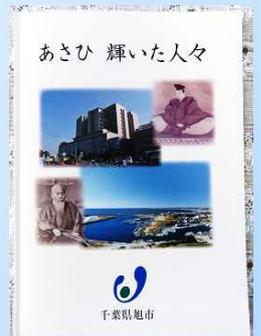
海上胤平の碑

この碑は現在、三川の福蔵寺にあり、胤平の生き方に共鳴した東郷平八郎が「海上胤平大人碑」と書いたものです。

三川出身の著名な歌人がいたと聞くと、「なるほど。三川っ子が短歌が好きなのは地域の特長かな。」と感じるところです。

学校には平成29年に刊行された右の『あさひ輝いた人々』という冊子があり、海上胤平の他に47名もの旭市の偉人が紹介されています。学校図書館から、いつでも借りられます。校長室の「海上胤平」直筆の額装も、興味・関心のある方は、お気軽に校長室まで足をお運びください。地元の歴史に思いをはせる機会にしていただければ幸いです。

校長



## 読み聞かせマルシェ、開催!

11月7日(木)の朝自習の時間に、「読み聞かせマルシェ」を行いました。本校教職員15名が、読み聞かせをしたい本を選び、児童が聞きたい本の教室に移動するスタイルです。全校児童は、いつもと違う雰囲気での読み聞かせを楽しみました。再度自分で読みたい児童のために、図書室に本の掲示をしていますので、どんどん借りに来ることを願っています。



## あいさつの大切さ

11月15日(金)に、児童集会を行い、代表委員会の児童による劇の発表がありました。

挨拶は「人と人をつなげる大切なもの」として、挨拶をして返された時と返されない時の気持ちの違いを紹介しました。

また、友達や先生、地域の人など、様々な立場の相手にも、挨拶ができるとよいことを、劇を通して全校児童に伝えました。



この劇の発表をきっかけにして、すてきな挨拶が広がっていくことを期待しています。

## 三川っ子学習発表会

11月8日(金)に、三川っ子学習発表会を開催しました。これまでに学習していた内容を、テーマごとに発表し、さらに学習を深めました。



【1年あきのおくりもの】



【2年伝えよう! わたしたちのまち探検】



【3年調べてみたよ! 世界の食べ物・料理+α】



【4年防災について】



【5年5年生で学んだこと特集】



【6年修学旅行in神奈川】

1~3年、4~6年の児童で、お互いに発表を聞き合ったり、参加型で体験したりと、学校全体で発表を楽しみました。参観して下さった保護者の皆様も、ありがとうございました。

## 家族を大切に

11月17日(日)に、旭市青少年意見発表大会があり、本校から、

6年〇〇〇〇さんが代表で発表をしました。テーマは「家族を大切に」でした。日頃から自分のためにさまざまなことをしてくれる家族へ感謝の気持ちをもとうという素晴らしい考えを、堂々と発表することができました。



## 11月の読書賞

11・12月の読書賞は、2年の〇〇〇〇〇さん、〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、3年の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが1



回目の受賞でした。お気に入りの本は、〇〇〇〇さんは「黒い本」(緑川聖司作)、〇〇〇〇さんは

「銀の本」(緑川聖司作)、〇〇〇〇さんは「りんごのまほう」(うえだしげこ作)、〇〇〇〇さんは「黒ねこのおきやくさま」(ルース・エイズワース作)、〇〇〇〇さんは「水ぶそくのサバイバル」(韓賢東作)だそうです。今後も読書を楽しんでほしいです。

